

ハイパーリンク

1. 概要.....	2
2. リンク変数オブジェクト.....	3
3. 画像にリンクを定義する.....	5

1. 概要

Create!Form では、PDF ファイルまたは HTML ファイルに URL やファイルなどへのリンク領域を定義することができます。

図：リンク



リンク領域を定義するためのオブジェクトとしては「リンク変数オブジェクト」が用意されています。

<< 注意 >>

リンク先として指定できる URL やファイルパスで利用できる文字は ASCII のみです。全角文字等は使用できません。

<< 注意 >>

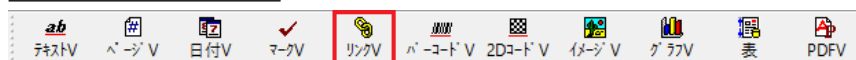
Screen で出力したリンク変数ではリンク先のページは別タブで開かれます。

2. リンク変数オブジェクト

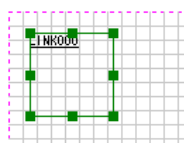
リンク変数オブジェクトは、入力データから取得した可変的なデータを元に帳票上にリンク領域を生成するオブジェクトです。Print および PrintStage 製品では通常のテキストとして描画されます。

Formエディター画面上でリンク変数オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクトツールバーにある「リンク変数」アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして配置します。

図：「リンク変数」アイコン



図：リンク変数オブジェクト



リンク領域はテキストとして描画されます。

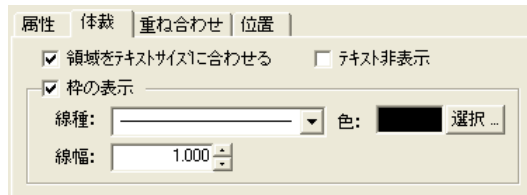
そのため、プロパティ画面の「属性」タブでは、フォントや文字間隔といったテキストデータとしての設定を行うことができます。

図：プロパティ - 属性

「フォント」「サイズ」「文字間隔」「色」「位置合わせ」の設定内容については、マネージャーのメニュー「ヘルプ」-「オンラインマニュアル」から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「固定テキスト/テキスト変数」をご覧ください。

リンク領域をどのように帳票上に表現するかの設定はプロパティ画面の「体裁」タブで指定します。

図：プロパティ - 体裁



ここでは以下の項目を設定することができます。

【領域をテキストサイズに合わせる】

マッピングされたテキストデータの文字列長に合わせてリンク領域を調整します。つまり、オブジェクトの定義サイズに関わらずテキスト部分のみにリンクが定義されるようになります。

【テキスト非表示】

マッピングされた URL などのテキストデータを表示せず、PDF 上にリンク領域だけを定義します。

【枠の表示】

チェックを有効にするとリンク領域の外周を枠線で囲みます。

【線種】

【線幅】

【色】

枠線のスタイルを指定します。使用可能な線種などの設定内容については、マネージャーのメニュー [ヘルプ]-[オンラインマニュアル] から「3. 機能リファレンス」-「3.3 フォームオブジェクト」-「罫線・楕円オブジェクト」をご覧ください。

3. 画像にリンクを定義する

リンク変数は URL などのテキストデータにリンク領域を定義しますが、他のオブジェクトと組み合わせることで画像などテキスト以外の描画データに対してもリンク領域を定義することができます。

図：画像上のリンク



画像上にリンクを定義する場合は、以下の手順で定義を行います。

1. リンク変数オブジェクトを配置
2. リンク変数の「テキスト非表示」を有効にする
3. 同じ位置にイメージオブジェクトを配置

Create!Form 12

ハイパーリンク 第2版

発行日	2024年8月
発行者	インフォテック株式会社